

認定タイムスタンプ byGMO の利用に関わる注意事項

本タイムスタンプサービスは PKI や暗号技術を使用しているため、その仕組み上、ご利用にあたりご注意ください。以下をご一読いただきご利用ください。

1. タイムスタンプの有効期間

タイムスタンプには有効期間があり、開始と終了は以下の通りです。

- 開始:タイムスタンプに記載されたタイムスタンプが発行された時刻
- 終了:タイムスタンプの発行に使用した TSA 証明書の有効期間の終了時刻、もしくは重大な問題発生時に TSA 証明書が失効した時刻

TSA 証明書の有効期間は認証局の規定により最長 135 ヶ月であり、TSA 証明書は秘密鍵活性化期間である 15 ヶ月以内毎に再発行されるため、タイムスタンプの発行時期にもよりますが、タイムスタンプの有効期間は、失効がなかった場合概ね 10 年から 11 年です。

2. タイムスタンプの有効期間の短縮

本サービスのタイムスタンプは定められた有効期間十分な安全性を提供できるよう、暗号アルゴリズムや保護施策を定め提供していますが、将来において暗号解析技術の想定を超えた進歩やタイムスタンプの発行で使用している秘密鍵の漏洩等によりタイムスタンプの有効期間が短縮される可能性があります。予めご了承ください。

3. タイムスタンプ対象データの保存期間とタイムスタンプの再付与

上記で説明したタイムスタンプの有効期間よりも、タイムスタンプ対象データの保存期間が例えば 20 年、30 年と長い場合、タイムスタンプの有効期間内に追加でタイムスタンプの再付与を行う必要があります。一般にこの処理は「署名延長」とも呼ばれています。

4. 有効期間を超えたタイムスタンプの扱い

上記で説明したタイムスタンプの有効期間を超えたタイムスタンプについては「令和 3 年総務省告示第 146 号に係る認定」に基づく時刻認証業務の信頼性の裏付けは失われることにご注意ください。

5. 本注意事項の改訂について

本注意事項は将来改訂される可能性があります。改訂される場合にはリポジトリのお知らせや定められた方法により利用者、検証者等の関係者に通知します。

以上